

従業員の健康増進に関する取組とその状況について

当社ではお客様と社会の未来を支え続ける揺るぎないマーケットリーダーであり続けるために、最大の資産である人材の多様化・高度化を通じた、経営戦略を支える人的基盤の構築が不可欠だという考え方のもと、人材基盤の構築の一つの取組として、健康経営®を推進しています。

健康経営に関する当社の考え方や取組む意味合い等については統合報告書や健康経営レポート（2019年度発行）を参照ください。

以下に2023年9月現在の取組およびその状況についてお知らせいたします。

『健康経営®』は特定非営利活動法人 健康経営研究会の登録商標です

からだの健康

▶ 当社では生活習慣病の未然防止に向けた取組みを推進しています。

<全層に向けた取組み>

<バーチャルウォーキングイベントの開催>

運動習慣の定着に向けた取組みの一環として、ウォーキングアプリを活用したバーチャルイベントを定期的開催しています。また、屋内でも可能な取組みとして厚生労働省が推奨する「+10（プラステン）：今より10分多く体を動かそう」のイベントツールを作成し、所属単位での取組みも推進しています。



ウォーキングイベント
優勝所属の様子

<食堂（本店本部）での健康メニューの提供>

食習慣改善に向けた取組みの一環として、「健康な食事・食環境」に認定されている東京本部・大阪本店の食堂で健康メニュー「スマートミール」を毎日提供しています。

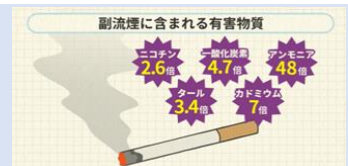


健康メニュー

<禁煙の推進に向けた取組み>

<禁煙に向けた指導・教育および環境整備>

禁煙推進に向けた取組みの一環として、産業医による個別禁煙指導や、動画教材の提供等を通じた健康リスクや周囲への影響などに関する禁煙教育を実施しています。また、禁煙推進の一環として、2020年3月末から全社敷地内全面禁煙を実施しています。



禁煙啓発動画

<特定保健指導対象層と生活習慣病予備群への取組み>

<特定保健指導や若年層への対応>

生活習慣病予備群に対する取組みの一環として、健康保険組合と協業し、特定保健指導を推進しています。また、特定保健指導の対象外である30歳から39歳の生活習慣病予備群にも独自の生活習慣改善のサポートを実施しています。

こころの健康

▶ 当社ではメンタルヘルス不調の未然防止に向けた取組みを推進しています。

<セルフケアの推進>

<一人ひとりが自身のストレスに気づく機会の提供>

セルフケア推進に向けた取組みの一環として、年に1度のストレスチェック時にセルフケアに関する動画の提供や社内外の相談窓口の周知を実施しています。

<ラインケアの推進>

<管理者教育やストレスチェック結果の活用>

ラインケア推進に向けた取組みの一環として、各階層別研修時に当社産業医等によるラインケアに関する研修を実施しております。また、管理者は各職場単位のストレスチェック結果を活用し、職場環境改善に向けた取組みを実施しています。

従業員の健康増進に関する取組とその状況について

ヘルスリテラシー

当社では各種行動変容につなげるべく、一人ひとりの健康に対する意識や知識の向上に向けた取り組みを推進しています。

<健康に関する学習機会の提供>

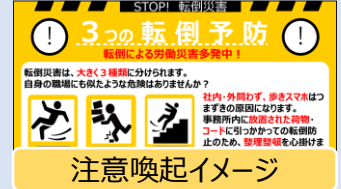
全職員向けにウェブや社内放送を活用した生活習慣の改善や各種検診等に関する研修やセミナーを実施しています。

労働安全衛生

当社では労働災害の未然防止に向けた取り組みを推進しています。

<労働災害の未然防止に向けた注意喚起>

労働災害の発生状況や傾向を分析の上、衛生委員会において共有化し、未然防止に向けた取り組みを協議しています。また、多く発生している事案について、社内イントラネットやデジタルサイネージ等を通じた注意喚起を実施しています。



(ご参考) 当社健康経営の目指す方向性

健康経営の
目指す姿

個人の幸福

会社の成長

地域社会への貢献

健康経営の全体像

達成
すること

病気になる人を減らす（未然防止・健康増進）

病気を早期発見、早期治療

生活習慣病
の予防

メンタル
未然防止

コロナの
感染予防



悪性新生物

婦人科疾患

具体
取組

生活習慣改善

課題
層

特定保健指導参加勧奨
要フォロー層への取組

全
層

一人ひとりが自身の課題
に合わせ、生活習慣を改善

喫
煙

禁煙の推進
(管理者・営業職員)

職場環境改善

未然
防止

ストレスチェック
結果活用的高度化

ストレスマネジメント等

未然
防止

自身のストレスに
気づく仕組みづくり

コロナ対応

基本的な感染
予防に関する
情報発信・提供

がん検診
受検促進

“女性が9割の会社”

婦人科疾患
対応

オンライン相談
トライアル等

全ての基盤

ヘルスリテラシーの向上

協業・
コラボ

健保組合との
コラボヘルス
の推進

産業医、
健康管理所
取組の高度化

関係各部と協業

衛生委員会等の
枠組みを活用した
現地フォローアップ

...

グループ会社への理解浸透

従業員の健康増進に関する取組とその状況について

データ編

		2021年度	2022年度	
からだの健康	定期健康診断受診率	99.7%	99.9%	
	精密検査受診率	77.6%	75.1%	
	高血圧者のうち治療中の割合 ※1	86.5%	87.6%	
	特定保健指導実施率 ※2	59.6%	72.6%	
	適正体重者率 ※3	61.7%	61.6%	
	喫煙率	24.7%	24.1%	
	がん検診受診率 ※4	乳がん	73.3%	73.6%
		子宮がん	53.3%	54.4%
		大腸がん	72.8%	67.3%
		胃がん	54.9%	52.6%
ウォーキングイベント延べ参加者数 ※5	約2.3万名	約1.2万名		
検診バスによる子宮がん検診の受診者数	4,060名	3,634名		
こころの健康	ストレスチェック	受検率	90.4%	94.5%
		総合健康リスク	100	101
ヘルスリテラシー	定期研修の受講率 ※6	91.7%	98.6%	
	希望者向けセミナーの満足度 ※7	-	81.5%	
労働安全衛生	労働災害度数率 ※8	1.41	1.40	
その他	平均所定外労働時間	22時間/月	21時間/月	
	休暇取得率 ※9	71.0%	80.4%	
	平均勤続年数 ※10	10.8	11.5	
	アブゼンティーズム ※11	2.6%	2.2%	
	プレゼンティーズム ※12	65%	66%	
	ワーク・エンゲージメント ※13	仕事へのやりがい	-	3.4
主体的に貢献する意欲		-	4.0	

- ※1 高血圧により治療中または収縮期血圧160mmHg以上または拡張期血圧100mmHg以上の職員が対象
- ※2 前年度下期から当年度上期にかけて実施した特定保健指導の完了率
- ※3 定期健康診断において、BMIが18.5以上25.0未満の職員の割合（40歳以上対象）
- ※4 40歳以上対象
- ※5 2021年度は3回実施、2022年度は2回実施（2022年度は12月～1月に「+10」イベントを別途実施）
- ※6 ヘルスリテラシー向上に向けた全職員向け研修
- ※7 食習慣の改善に向けたセミナーを開催
- ※8 労働災害のうち、休業を伴う案件を対象とした度数率
- ※9 普通休暇付与日数（21日）に対する平均取得日数の割合
- ※10 年度末時点での勤続年数の平均
- ※11 メンタルヘルス疾患により欠勤・不出勤となった職員の割合
- ※12 通常発揮できる生産性を100%としたときの、現状の生産性の発揮割合（仕事の実績、質、量より算出した総合指数）
- ※13 エンゲージメント調査結果スコアの当該項目について5段階で評価した数値の平均